

2011年度(平成23)年度 第6回理事会記録

日時：2011年(平成23年)12月10日(土)14:03~16:00

場所：八重洲ダイビル 第1会議室

出席者：高田邦昭(理事長)、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦(以上、常務理事)、青山裕彦、井関尚一、大野伸一、小路武彦、小林 繁、佐藤洋一、千田隆夫、仙波恵美子、高野吉郎、寺島俊雄、福井義浩、松村讓兒(以上、理事)、相磯貞和、八木沼洋行(以上、監事)、竹田 扇、寺田純雄、仲嶋一範(以上常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：なし

I. 理事長挨拶

先日開催された臨時総会への学会員の協力に関して謝意が表明された。

II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として、松村讓兒、井関尚一両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

III. 会議記録の確認

- (1)2011年(平成23年)度第5回理事会記録、同議事録(案)
- (2)2011年(平成23年)度総会記録、同議事録、同摘録(案)
- (3)2011年(平成23年)度臨時総会記録、同議事録、同摘録(案)

IV. 報告事項

1. 庶務報告(岡部庶務担当理事)

- (1)教授就任による学術評議員の承認について
6件の申請があり、このうち5件が有資格者であることの確認が行われた。残1件に関しては種々の意見交換の後、申請による学術評議員に該当することが確認された。
- (2)名簿の販売状況について
平成23年12月8日現在の精算対象販売部数34のうち未収分が32に上ることが報告され、この分は損失処理で決算報告を行うこととなった。
- (3)持ち回り理事会結果について
メール会議の形で実施された第5回理事会の結果確認が行われた。
- (4)申請による学術評議員について
12月10日現在の申請状況の報告と申請資格確認が行われた。また、資格審査基準の明文化に関して確認が行われた。
- (5)一般社団法人移行について
申請日を12月1日とした場合の実際の審査に関する流れの概要が提示され、今後進展があった場合には案内を行う旨が説明された。
- (6)ホルマリン作業環境についてのアンケート結果
管理区分が基準に達していない大学もあること、今後2年に一回程度のアンケート調査を行う予定であることが説明された。
- (7)日本医学会利益相反会議報告
臨床系の学会でCOI(conflict of interest)が問題になる事が多く、各学会で自主規制を行うのが日本医学会の方針であることが説明された。また、解剖学会の学会誌でも本件に抵触する例があったので、今後対応して行く旨が説明された。
- (8)研究医養成に関するアンケート中間報告
アンケート結果の中間報告と意見交換が行われた。
- (9)その他
特になし。

2. 編集報告(渡辺編集担当理事)

- (1)科研費申請について
ASIの平成23年度科研費への申請とその結果の報告が行われた。また今後の対応について説明があった。
- (2)日本医学雑誌編集者会議報告
同会議に年森編集長が参加したこと、主要な議事が①二重投稿の防止、②臨床試験に関する諸問

題、③COI、の3点であった旨が報告された。

(3) ASI入札執行結果について

シュプリンガー・ジャパンに決定したこと、投稿システムに変更があったことが報告された。

(4) ASI査読システム変更について

システムを変更したこと、掲載の為の原稿が不足していること、が報告された。また、新任教授の総説執筆への積極的な協力が要請された。

(5) 支部学術集会抄録掲載料と解剖学雑誌の刊行見直しについて

来年度から支部学術集会の抄録は全てPDF化して印刷体は発行しないことが報告された。このため掲載料2,000円は廃止となるが、年4回の発行を来年度は維持することが報告された。

(6) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成23年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

標記2件の賞の申請状況について資料をもとに報告があった。

(2) 2012(平成24)年度総会・全国学術集会準備状況について

標記総会・全国学術集会会頭の大野理事より資料に基づいて説明があった。

(3) 2015(平成27)年度総会・全国学術集会開催校について

京都府立医科大学が日本医学会に合わせて京都で開催し、生理学会との合同開催を企図している旨の説明があった。

(4) 2013(平成25)年度総会・全国学術集会開催日程について

2013年3月28日～30日に香川大学の主催でかがわ国際会議場での開催となることが報告された。

(5) 一級技術士審査結果について

1名の応募者について資格有りとして認定した旨の連絡が解剖組織技術士資格審査委員会よりあったことが報告された。

(6) 二級技術士審査結果について

7名の応募者について資格有りとして認定した旨の連絡が解剖組織技術士資格審査委員会よりあったことが報告された。

(7) 生物科学学会連合報告

定例会議の報告が資料に基づき行われた。

(8) その他

特になし。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

(1) 支部学術集会決算について

関東支部の決算についてのみ報告があった。

(2) 2011(平成23)年度総会・全国学術集会収支決算について

本大会の収支決算が確定し、剰余金631万円が学会に還付されたことが報告された。

(3) 平成23年度中間決算書について

11月30日現在の中間決算について資料をもとに説明があった。

(4) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 名誉会員・永年会員の推薦について

名誉会員、永年会員の双方について推薦候補者リストが確認され、総会に上程されることが承認された。

2. 教授就任による学術評議員就任についての申し合わせ案について

今後の標記申請に関する基準が明文化の上提示され、種々の意見交換のあと承認された。

3. 事務委託契約について

口腔保健協会からの平成24年度の事務委託再契約に関する書類が提示、審議され、承認された。

4. 平成24年度事業計画案について

資料をもとに審議が行われ、承認された。

5. 平成24年度仮予算書案について

標記案について説明が行われ、審議の結果、承認された。

6. 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン案」における各支部の意見について
各支部長（7名）からの意見聴取と種々の意見交換が行われた後、学会としての意見を2012年3月末までにまとめることが承認された。
7. 資産運用の申し合わせ案について
第116回大会で生じた剰余金を「特別事業積立金」として運用する予定であることが開示された。
8. その他
 - (1) 申請に依る学術評議員について質問があり、規定及び運用について説明があった。
 - (2) 次回理事会は平成24年3月25日（日）に15時から開催することが決定された。

上記の2011年度（平成23年度）第6回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2011年（平成23年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人